

鈴鹿市都市マスタープラン改定業務
市民意向把握及び庁内検討進捗状況について

経過報告

日程	項目	実施内容
6月23日～9月21日	市内企業訪問・聞取り	モノづくり企業を中心に産業政策課と聞取り
8月～10月	企業アンケート	市外・県外企業立地動向調査 鈴鹿市事業所向け産業施策に関するアンケート（産業政策課が実施，結果を共有）
12月8日	商工会議所ヒアリング	総合計画におけるヒアリング
7月～9月	学生との意見交換	鈴鹿工業高等専門学校，白子・鈴鹿・神戸・飯野・稻生・石薬師高等学校，鈴鹿大学，鈴鹿医療科学大学 （総合政策課に同行）
7月～10月	28地域づくり協議会との意見交換	28地域づくり協議会との意見交換（総合政策課が実施，結果を共有）
9月28日 ～10月21日	市民アンケート調査	土地利用等に対する満足度重要度などのアンケート調査
10月6日	子育て世代との意見交換会	転入ママのつどい対象者との意見交換（総合政策課に同行）
12月7日	若手職員対象 プレワークショップ	
12月18日	第1回市民ワークショップ	
1月22日	第2回市民ワークショップ	
12月15日	第1回庁内検討会議	
1月25日	第2回庁内検討会議	
2月16日	第1回庁内検討会議作業部会	
3月22日	第2回庁内検討会議作業部会	
4月19日	第3回庁内検討会議作業部会	

鈴鹿市都市マスタープラン・アンケート調査

～より住みよい“鈴鹿”のまちづくりに向け、ご意見をお聞かせください～

日頃は、市政について格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

鈴鹿市では、本市におけるまちづくりの課題、都市マスタープランの目標達成状況などを踏まえ、おおむね20年後の将来都市像を展望し「鈴鹿市都市マスタープラン」の見直しを現在進めているところです。

そこで、市民の皆様の考えを計画の改定への参考とさせていただくため、アンケート調査を実施します。現在や将来の鈴鹿市のまちづくりのあり方などについて皆様の率直な意見をお聞かせいただきたいと考えております。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年9月

鈴鹿市長 末松 則子

- ◇ 調査票は、市内にお住まいの18歳以上の方から3,000名を無作為に抽出し、送付しています。（令和4年8月現在の住民登録データを参照しています。）
- ◇ 調査は無記名で行い、回答の内容（統計的に処理したものを除く。）は、調査の目的以外には一切使用しませんので、回答いただいた方にご迷惑を掛けることはありません。
- ◇ アンケートの集計結果は、広報すずか及び鈴鹿市ホームページで皆さんに報告します。

調査票の記入方法

- ◇ ご本人が回答してください。記入が困難な場合は、代わりの方がご本人の回答をお聞きの上、代理で記入をお願いします。お名前を書く必要はありません。
- ◇ 回答は、あてはまる箇所に○をつけてください。「その他（ ）」を選択する場合は、具体的な内容を（ ）に記入してください。
- ◇ 回答は、**令和4年10月21日（金）**までに「インターネット」又は「郵送（紙）」のどちらかをお願いします。郵送（紙）の場合は、同封の返信用封筒にて返送してください。

インターネット回答を希望する方は

- ◇ インターネットでの回答は下記アドレスか二次元コードにアクセスし、回答してください。

※インターネットからの回答により、個人が特定されることはありません。

アンケート回答アドレス：<https://forms.gle/ozxLPqr1t1vES2SL7>

二次元コード



アンケートに関する問合せ先：鈴鹿市 都市整備部 都市計画課

電話番号：059-382-9063（直通）／ Fax：059-384-3938

電子メール：toshikekaku@city.suzuka.lg.jp

にほんご ばあい と あ 日本語がわからない場合などはお問い合わせください

これは、鈴鹿市が新しい計画を作るためのアンケートです。

日本語がわからない人は、日本語がわかる人といっしょに教えてください。

なにか質問があれば、市役所に聞いてください。

※Web（インターネット）でも回答ができます。

（ポルトガル語）

■ Aos cidadãos estrangeiros

Esse é o Questionário de Planejamento Abrangente de Suzuka.

Se você não sabe japonês, responda com alguém que sabe.

Caso tiver alguma dúvida, pergunte à sua prefeitura.

* Você pode responder pela WEB (Internet).

（スペイン語）

■ A los señores ciudadanos extranjeros

Les estamos pidiendo su colaboración con el cuestionario para la planificación integral de Suzuka.

Por favor coopere con alguien que sepa japonés.

Si tiene alguna pregunta, entre en contacto con la municipalidad de Suzuka.

* También puede contestar en la WEB.

（英語）

■ To foreign citizens

We would like to ask your cooperation with the Suzuka Comprehensive Planning Questionnaire. Please answer with someone who understands Japanese. If you have any questions, please ask to Suzuka City.

* This survey can also be accepted online.

URL : <https://forms.gle/ozxLPqr1t1vES2SL7>

としけいかくか
都市計画課 Tel.059-382-9063
しみんたいわか
市民対話課 Tel.059-382-9058

二次元コード



● お答えいただくにあたって・豆知識 ●

「鈴鹿市都市マスタープラン」とは

鈴鹿市都市マスタープランとは、鈴鹿市の将来像を実現するため、都市計画に関する基本的な方針を定めるものです。まちづくりを進めるうえでの総合的な指針となる役割を持ち、都市の将来像や土地利用の方向性、道路などの交通体系や河川・公園などの都市の施設、住宅地や工業地などの整備方針などを示します。

「土地利用」とは

良好な環境を守り住みよいまちづくりにつなげるため、森林や農地の保全、農地や緑地を宅地化することの誘導または制限、建てられる建物の用途(工場や店舗、住宅など)や大きさの制限など、都市計画では土地の利用のあり方を定めることができます。

近年では、社会情勢の変化や環境への配慮から、これまでの開発・整備によるまちづくりから、既存のまちの個性を活かし、より良好な方向に土地利用を誘導・成熟させることが一般的には求められています。

「近年の社会情勢」とは

平成28年度に改定した鈴鹿市都市マスタープランでは、「みんなで創り 育み 成長し みんなに愛され選ばれるまち すずか」を将来像として掲げ、改定当時の社会情勢をふまえたまちづくりの目標等を定め、計画を推進しています。

しかし、その後の自然災害の激甚化、新型コロナウイルスの感染拡大、デジタル技術の進化などにより、まちづくりのあり方、環境や防災面などへの市民意識が大きく変化してきています。

また、鈴鹿市において、今後、長寿社会の進行、生産年齢人口の減少や、感染予防と社会活動の回復を両立した「新しい働き方」「新しい生活様式」への変革・定着などを前提に、都市の持続的発展に向けた積極的な取組が求められます。

これまで、必要に応じて市街地の拡大も見据えまちづくりを進めてきましたが、近年の社会情勢の中で、これまでのように市街地の拡大が続くと、道路や上下水道などの都市基盤施設の整備や維持が難しくなり、また地球環境への負荷も大きくなります。

このようななか、進めるべきまちづくりの内容や優先順位を明確にし、それに基づき、既存の施設を活かしながら、より効果的で、コンパクトなまちづくりを進めることが求められています。

さらに、まちづくりを効果的に進めるためには、市民・事業者と行政との協働による円滑な推進も重要となります。

このような社会情勢等をふまえ、次の質問にお答えください。

● あなた自身のことについてお聞きします。

次の問1から問5について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

問1／あなたの性別は、次のうちどれですか。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 回答しない

問2／あなたの年齢は、次のうちどれですか。

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 19歳以下 | 5. 35～39歳 | 9. 55～59歳 |
| 2. 20～24歳 | 6. 40～44歳 | 10. 60～64歳 |
| 3. 25～29歳 | 7. 45～49歳 | 11. 65～69歳 |
| 4. 30～34歳 | 8. 50～54歳 | 12. 70～74歳 |
| | | 13. 75歳以上 |

問3／あなたがお住まいの地区は、次のうちどれですか。

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 国府 | 8. 飯野 | 15. 栄 | 22. 鈴峰 |
| 2. 庄野 | 9. 河曲 | 16. 天名 | 23. 庄内 |
| 3. 加佐登 | 10. 一ノ宮 | 17. 合川 | 24. その他 |
| 4. 牧田 | 11. 箕田 | 18. 井田川 | () |
| 5. 石薬師 | 12. 玉垣 | 19. 久間田 | |
| 6. 白子 | 13. 若松 | 20. 椿 | |
| 7. 稲生 | 14. 神戸 | 21. 深伊沢 | |

問4／あなたの職業は、次のうちどれですか。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 6. 学生 |
| 2. 自営業(商・工・サービス業) | 7. 専業主婦(夫) |
| 3. その他自営 | 8. アルバイト、パート |
| 4. 会社員、会社役員 | 9. 無職 |
| 5. 公務員、団体職員 | 10. その他() |

問5／あなたの就業地、通学地は、次のうちどこですか。

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 自宅(専業主婦(夫)・無職を含む) | 5. 亀山市 |
| 2. 鈴鹿市内 | 6. 上記以外の三重県内 |
| 3. 津市 | 7. 名古屋市 |
| 4. 四日市市 | 8. その他() |

● 鈴鹿市全体のことについてお聞きします。

近年の社会情勢の変化等をふまえ、今後の鈴鹿市のまちづくりの方向性を検討するにあたり、参考にするため次の質問にご回答ください。

☆ 現在と将来の鈴鹿市に対するイメージについての質問です。

問6／あなたは現在と将来の鈴鹿市について、どんなイメージを持っていますか。

次の中からあなたのイメージに最も近いものを「現在の鈴鹿市（あなたが現在お持ちのイメージ）」から3つまで、「将来の鈴鹿市（あなたがこうなってほしいと思うイメージ）」から3つまで、それぞれ選んで○をつけてください。

鈴鹿市に対するイメージ		現在 【○3つ】	将来 【○3つ】
1	豊かな自然に恵まれたまち		
2	自然エネルギー等の活用などを進める環境にやさしいまち		
3	居住環境が整った、住みやすいまち		
4	伝統を守り、文化のかおり高いまち		
5	教育の内容や施設が充実しているまち		
6	医療機関、保健医療の充実したまち		
7	スポーツ施設、レクリエーション施設が整っているまち		
8	自然や歴史などを活かした観光・交流のまち		
9	美しい景観のあるまち		
10	道路交通や公共交通が便利で、移動しやすいまち		
11	自然災害等に強い、安心して住めるまち		
12	高齢者、子ども、障がい者など、すべての人にやさしいまち		
13	農業・漁業の盛んなまち		
14	工業の盛んなまち		
15	活気に満ちた商業のあるまち		
16	住民活動・コミュニティ活動の盛んなまち		
17	その他：具体的に ()		

さらに、今後の鈴鹿市の土地利用のあり方を検討するにあたり、参考にするため次の質問にご回答ください。

☆ 今後の鈴鹿市の土地利用についての質問です。

問7／鈴鹿市全体の今後の土地利用について、何を重点的に進めていくことが望ましいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

重点的に進めていくこと		【○3つ】
1	森林や里山などの緑を保全する	
2	市内に広がる田畑などの農地を保全する	
3	市街地や市街地周辺で計画的に住宅地を広げる	
4	商業施設の整備・充実を進める	
5	工場の誘致活動を積極的に進め、工業地を広げる	
6	住宅地や商業地、工業地の混在をなくしていく	
7	鈴鹿の新しい「町の顔」となる魅力ある地区の創出を進める	
8	駅前の商業地や歴史ある地区など、各地区の個性にふさわしい土地利用を進める	
9	駅やインターチェンジの周辺エリアの開発を進める	
10	自動車産業やIT、農業、バイオ等に関する新たな産業・研究機能の集積・誘致を進める	
11	誰もが楽しめる観光・レクリエーション施設の整備・充実を図る	
12	農業を活かしたゆとりと安らぎのある、緑豊かな住宅地を形成する	
13	住民が集い・憩う公園や災害時にも活用できる広場などの整備・充実を図る	
14	災害に強い住宅地を形成する	
15	現在のままでよい	
16	わからない	
17	その他：具体的に ()	

次に、効果の高い都市づくりを進めるにあたり、参考にするため次の質問にご回答ください。

☆ 現在と今後の鈴鹿市の都市づくりについての質問です。

問8／**鈴鹿市全体**の都市づくりに関する次の項目について、現在の満足度と今後の重要度のそれぞれにあてはまる評価を1つ選んで○をつけてください。

都市づくりに関する項目		現在の満足度					今後の重要度				
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない
記入例：現在が「やや満足」、今後が「重要」の場合		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
安心・安全	①地震・水害・崖崩れ・火災など災害時の安全性	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	②交差点や歩道などの安全性	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	③公共施設や店舗などのバリアフリー化	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
都市整備	①自動車での移動のしやすさ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	②下水や雨水の排水	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	③日常の買い物の利便性	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	④行政サービスの利用のしやすさ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	⑤新たな住宅地の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	⑥子どもの遊び場や公園	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
環境	①農地の保全	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	②建物の色彩の調和	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	③敷地内の緑化等まちの緑の豊かさ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	④日照や風通しの確保、密集した建物の解消	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	⑤整ったまち並みや歴史を大切にした景観	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	⑥大規模太陽光開発と緑の景観保護のバランス	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
教育・文化	①教育施設・文化施設	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	②スポーツ施設、レクリエーション施設	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
保健・福祉	①病院・福祉施設等の利用のしやすさ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	②子育て関連施設	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
産業	①商店街や商業地の活性化	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
	②工場や事業所などの雇用の場	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
鈴鹿市全体の総合的な評価		A	B	C	D	E					

次に、良好な景観形成を図るにあたり、参考にするため次の質問にご回答ください。

☆ 鈴鹿市の景観についての質問です。

問9／鈴鹿市の中で①後世に残したい景観と思うところ、②良くない景観と思うところはどこですか。

①～②のそれぞれについて、あてはまるものを5つまで選んで○をつけてください。

① 後世に残したい景観と思うところ		【○5つ】
1	市内のどこからでも見られる鈴鹿山脈の山並み	
2	砂浜と松並木が続く海辺の景観	
3	汲川原橋から望む鈴鹿川の景観	
4	吊り橋から見る小岐須の屏風岩	
5	新芽が芽吹く頃の茶畑の景観	
6	花の咲く頃のサツキ畑の景観	
7	市街地周辺に広がる水田の景観	
8	中央道路に面した工場の緑地景観	
9	まちなみの整った神戸の商店街通りの景観	
10	バルーンフェスティバルの景観	
11	太陽の街の緑豊かな住宅地景観	
12	参道から見る椿大神社の本殿	
13	庄野宿などの歴史的まちなみ	
14	田園風景の中に立つ長太の大クス	
15	その他：具体的に（ ）	

② 良くない景観と思うところ		【○5つ】
1	山を切り開いて設置された太陽光発電施設	
2	土砂採取により露出した山肌	
3	茶畑などの田園景観を阻害する産廃施設	
4	田園景観の中で目立つ鉄塔	
5	まちの玄関口としての魅力に欠ける駅前の景観	
6	中央道路沿いに並ぶ無秩序な看板類	
7	過度に刈り込まれた中央道路のケヤキ並木	
8	道路景観の中で目立つ電柱・電線	
9	店舗建物の派手な色彩	
10	幹線道路で寸断された旧街道	
11	特に良くない景観はない	
12	その他：具体的に（ ）	

デジタル技術やウォーカブルを活用した都市づくりの方向性を検討するにあたり、参考にするため次の質問にご回答ください。

☆ 鈴鹿市の都市づくりについての質問です。

問 10 / 近年、デジタル技術が飛躍的に進展しており、デジタル技術を活用した便利なサービスが行政サービスやまちづくりで活かされた場合にどのように思われますか。あてはまるものを 1つ選んで○ をつけてください。

デジタル技術の活用（1つ）		【○1つ】
1	積極的に活用したい	
2	わからないことが多く不安であるが、少しずつ活用したい	
3	わからないことが多く不安であるため、活用したくない	
4	その他：具体的に（ ）	

問 11 / 近年、多くの都市で「ウォーカブルなまち」の形成に向けた取組が進められています。「ウォーカブルなまち」とは、安全に歩くことができるというだけでなく、歩きたくなるまち、滞在したくなるまちのことです。鈴鹿市のウォーカブルなまちづくりに関する次の項目について、あてはまるものを 1つ選んで○ をつけてください。

ウォーカブルなまちづくりに関する項目	当てはまる評価				
	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①現状、住宅周辺の身近な歩行空間は“歩きたい・歩きやすい”と思える空間となっていますか	A	B	C	D	E
②今後、住宅周辺の身近な歩行空間を充実させ、ウォーカブルなまちづくりを推進すべきだと思いますか	A	B	C	D	E
③今後、鈴鹿市でウォーカブルなまちづくりに関する取組が進められた際、住宅周辺の身近な歩行空間を“歩いてみたい”と思いますか	A	B	C	D	E

● **あなたのご意見をお聞かせください。**

問 1 2 / 鈴鹿市都市マスタープランについてどの程度知っていますか。あてはまるものを 1つ選んで○ をつけてください。

1. 計画書（マスタープラン）を見たことがあり、知っている
2. 計画書（マスタープラン）を見たことはあるが、よく知らない
3. 計画書（マスタープラン）を見たことはないが、名前は聞いたことがある
4. 計画があることを知らない
5. その他（具体的に： _____ ）

問 1 3 / まちづくりへの参加について、どのようにお考えですか。あてはまるものを 1つ選んで○ をつけてください。

1. 現在も参加しており、これからも参加し続けたいと思っている
2. 現在は参加しているが、これからも参加し続けるか迷っている
3. 現在は参加していないが、これから参加したいと思っている
4. 現在は参加していないが、これから参加することに迷っている
5. 現在も参加していないし、これからも参加するつもりはない

問 1 4 / 鈴鹿市について、ご意見やまちづくりのアイデアなどがありましたら、何でも結構ですのでご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

また、市民ワークショップへの参加登録を募集します。詳しくは次ページをご覧ください。

市民ワークショップに参加しませんか

市民ワークショップとは？

鈴鹿市では、都市マスタープランを改定するにあたり市民の皆さんのご意見を反映するため、20年後の鈴鹿のまちづくりについて自由な雰囲気の中で話し合う市民ワークショップの開催を予定しています。これからのまちづくりの中心となる18歳から49歳の方からご意見をいただきたいと考えています。

ワークショップ当日は、まちづくりの主要なテーマについて、皆さんで話し合う前にオリエンテーションを予定していますので、都市マスタープランについてご存じない方や予備知識がない方、まちづくりへの参加が初めての方にもぜひご参加いただければと思います。

開催日程

市民ワークショップは令和4年度の秋から冬にかけての開催を予定しています。多くの方にご参加いただけるよう、オンライン併用での開催を予定しています。2時間程度のワークショップを予定しています。

応募方法

ワークショップへの参加を希望する方は「市民ワークショップ参加希望票」へのご記入をお願いします。 ※参加を希望しない場合、参加希望票は空欄のままで回答ください。ワークショップの開催日程が近づきましたら、参加希望者に開催案内をお送りします。 ※応募者多数の場合は抽選としますので、参加希望いただいても参加できない場合があります。あらかじめご了承ください。



市民ワークショップ参加希望票

市民ワークショップへの参加を希望します。

ふりがな	
氏名	
住所	〒 ー
電話番号	
メールアドレス	
オンライン参加	☐ オンライン参加を希望します。 ☐ 会場参集での参加を希望します。 ☐ オンライン・会場参集どちらかでの参加を希望します。
開催時間帯希望 (参加できる時間帯をすべてチェックしてください)	☐ 平日の19時 ☐ 土曜日の10時 ☐ 土曜日の13時 ☐ 土曜日の19時 ☐ 日曜日の10時 ☐ 日曜日の13時 ☐ 日曜日の19時

※参加を希望しない場合参加希望票は空欄のままで回答ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございます。

※ご記入いただいた個人情報は、ワークショップの運営以外の目的には一切使用いたしません。

※参加費は無料です。ただし、オンライン参加の場合、通信料金は各自負担になります。

※ワークショップに関する連絡は記載いただいたメールアドレスにお送りします。

メールアドレスの記載がない方へは書面の郵送にて連絡させていただきます。

急を要する場合など、電話でご連絡する場合があります。

鈴鹿市都市マスタープラン・アンケート調査結果＜概要版＞

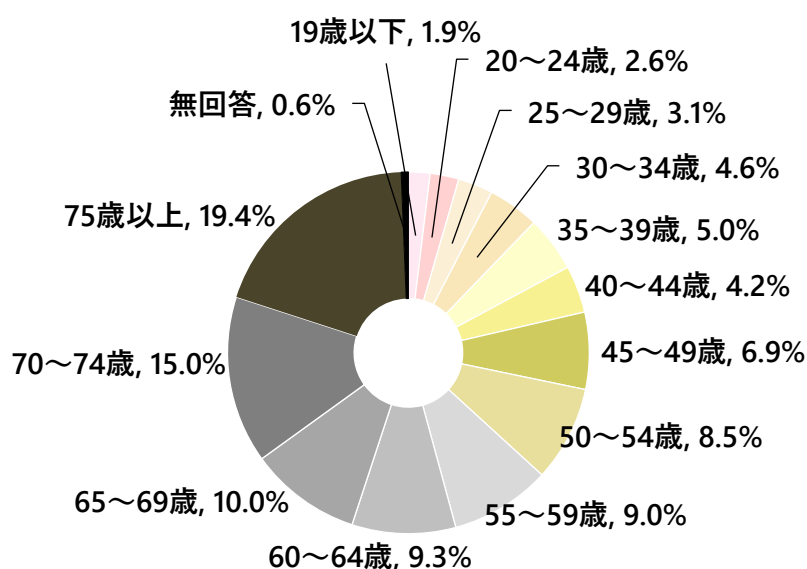
実施概要

調査対象者	鈴鹿市の住民登録をしている 18 歳以上の市民 3,000 人
対象者の抽出方法	令和 4 年 8 月現在の住民登録データから、各地域（現行都市マスタープランの 8 地域区分による）の人口、性別、年齢などを考慮し無作為抽出 ※別途鈴鹿市ホームページにアンケート調査の案内を掲載し、インターネットによる回答を実施（誰でもアクセス可能）
調査方法	郵送による配布・回収とインターネットによる回答
調査期間	令和 4 年 9 月 28 日（水）～令和 4 年 10 月 21 日（金）

回収結果

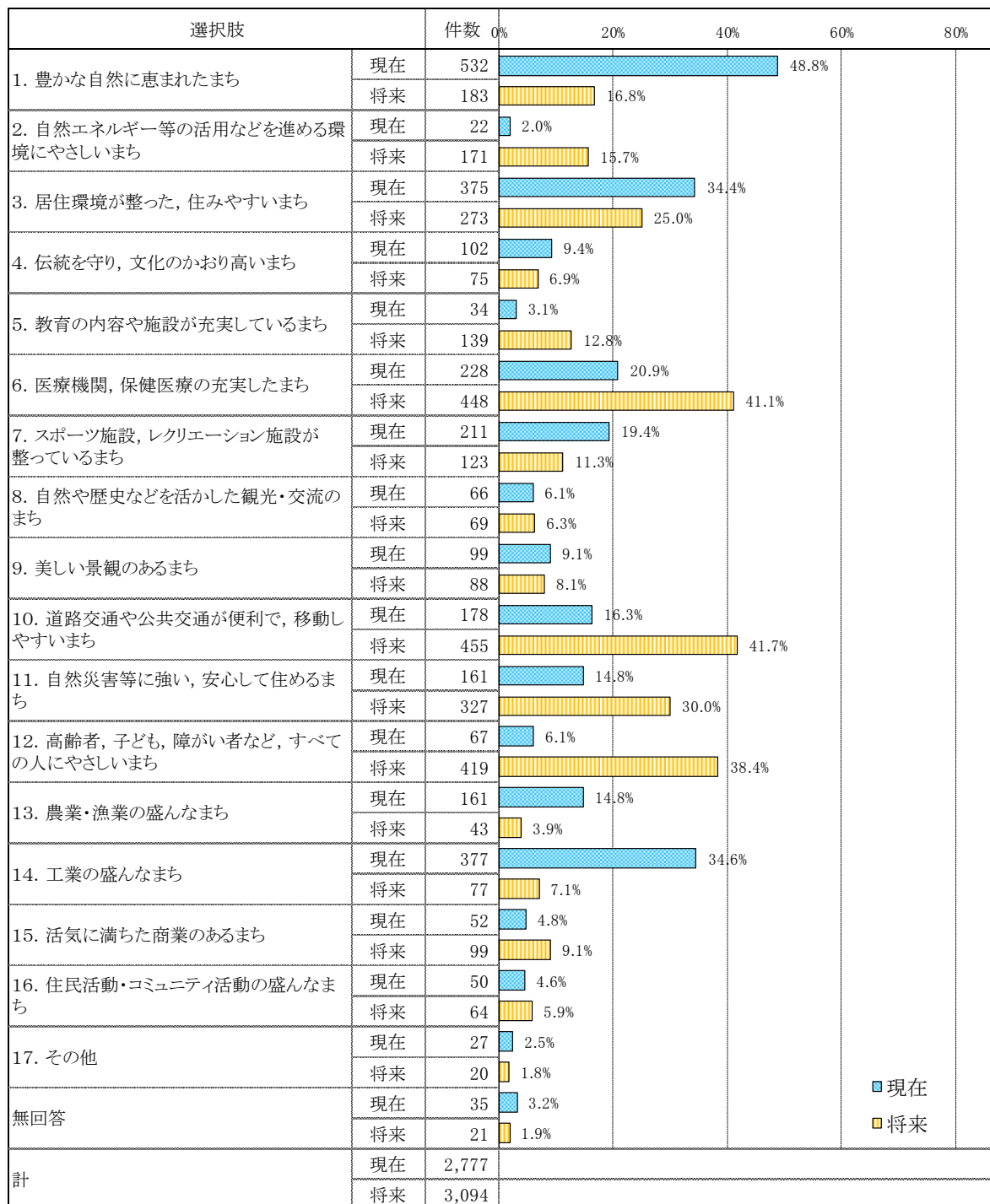
	令和 4 年（今回）	平成 24 年（前回）
配布数	3,000 票	3,000 票
回収数	1,090 票	1,132 票
回収率	36.33%	37.73%
無効票	0 票	3 票
有効回答数	1,090 票	1,129 票
有効回答率	36.33%	37.63%
備考	回収数には、ホームページからの回答（13 票）も含む	

【回答者の属性＜問 2 年齢＞】「75 歳以上」が 19.4%で最も割合が高く、次いで「70～74 歳」が 15.0%、「65～69 歳」が 10.0%となっています。年齢層が高いほど回答率が良くなっています。



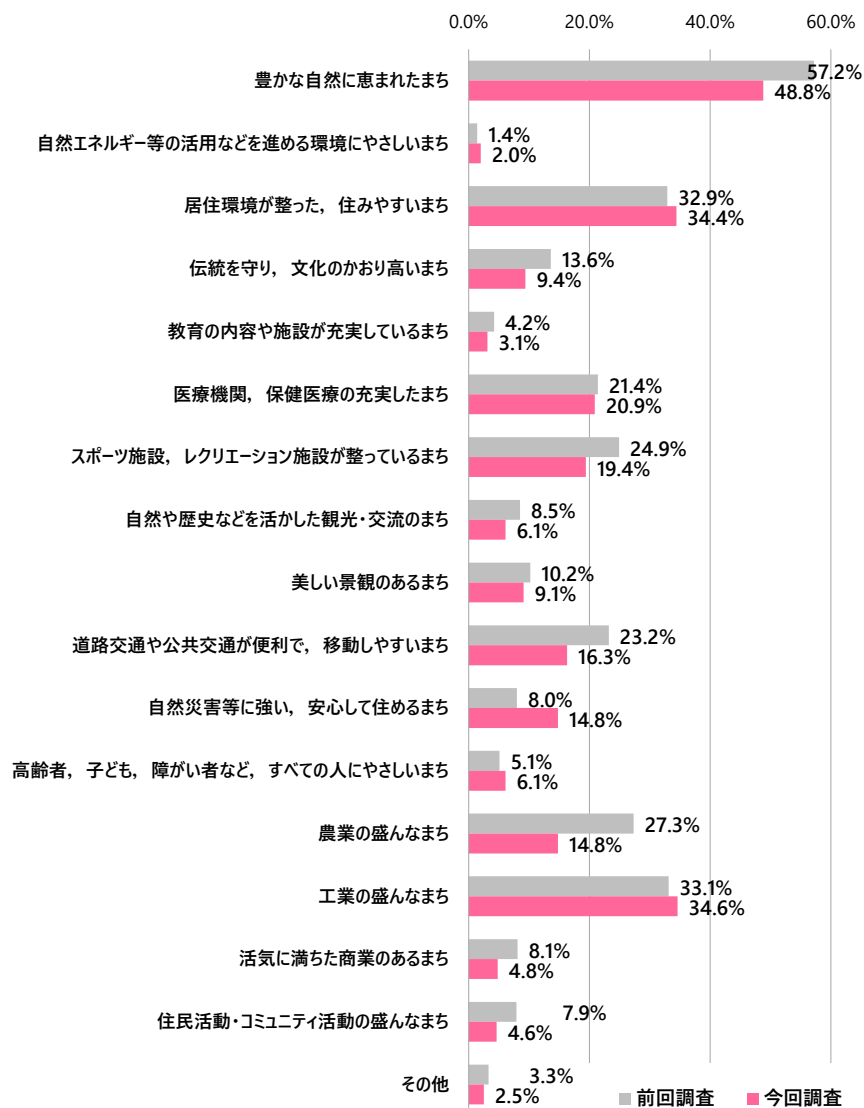
n=1,090 名

【鈴鹿市に対するイメージ＜問6＞】現在のイメージは、「1. 豊かな自然に恵まれたまち」が48.8%で最も割合が高く、次いで「14. 工業が盛んなまち」が34.6%、「居住環境が整った、住みやすいまち」が34.4%となっています。将来のイメージは、「10. 道路交通や公共交通が便利で、移動しやすいまち」が41.7%で最も割合が高く、次いで「6. 医療機関・保健医療の充実したまち」が41.1%、「12. 高齢者、子ども、障がい者など、すべての人にやさしいまち」が38.4%となっています。将来のイメージの割合が高い項目は、現在のイメージの割合との差が大きく、市民にとって今後望むまちづくりの方向性であることがうかがえます。



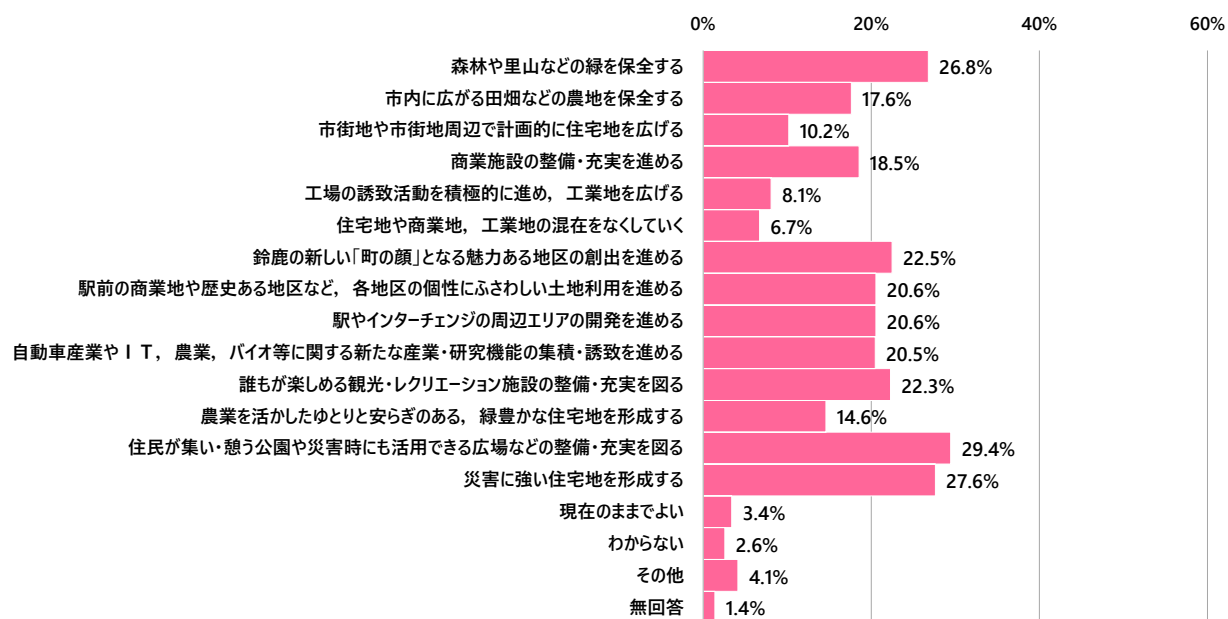
n=1,090 名

【鈴鹿市に対するイメージ＜問6＞】過年度と比較すると、「自然災害等に強い、安心して住めるまち」(6.8pt アップ)、「居住環境は整った、住みやすいまち」(1.5pt アップ)、「工業の盛んなまち」(1.5pt アップ) は前回よりもイメージの割合が高くなっています。



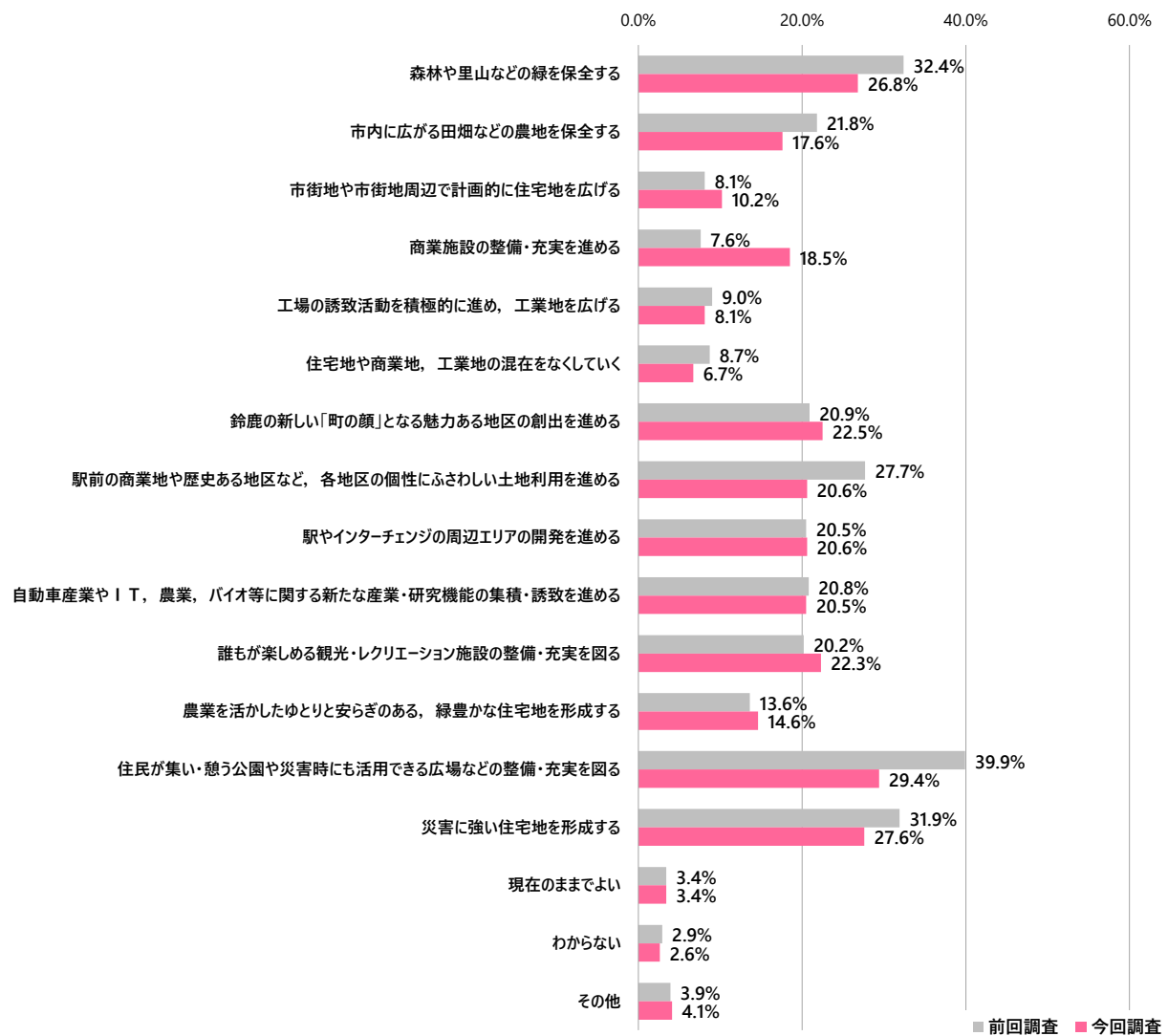
n=1,090 名(今回)、1,129 名(前回)

【土地利用のあり方＜問 7＞】「住民が集い・憩う公園や災害時にも活用できる広場などの整備・充実を図る」が 29.4%で最も割合が高く、次いで「災害に強い住宅地を形成する」が 27.6%、「森林や里山などの緑を保全する」が 26.8%となっています。災害に対する懸念や自然環境の保全への意向がうかがえます。



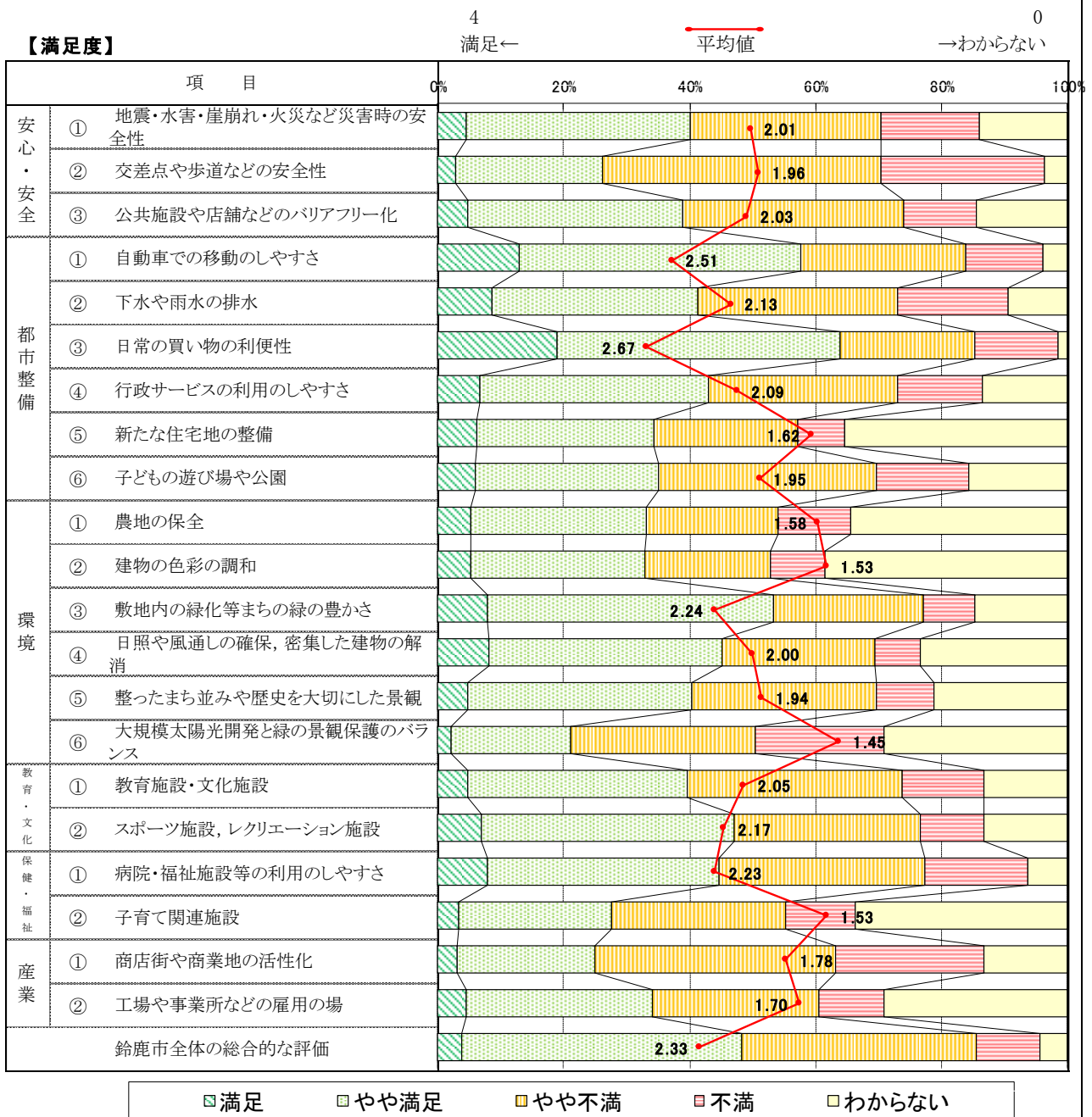
n=1,090 名

【土地利用のあり方＜問 7＞】過年度と比較すると、「商業施設の整備・充実を進める」(10.9pt アップ)、「市街地や市街地周辺で計画的に住宅地を広げる」(2.1pt アップ)、「誰もが楽しめる観光・レクリエーション施設の整備・充実を図る」(2.1pt アップ)などの項目の割合が高くなっています。



n=1,090 名(今回)、1,129 名(前回)

【現在の満足度＜問 8＞】現在の満足度は、「日常の買い物の利便性」、「自動車での移動のしやすさ」、「敷地内の緑化等まちの緑の豊かさ」が相対的に高くなっています。反対に、「大規模太陽光開発と緑の景観保護のバランス」、「建物の色彩の調和」、「子育て関連施設」は相対的に低くなっています。

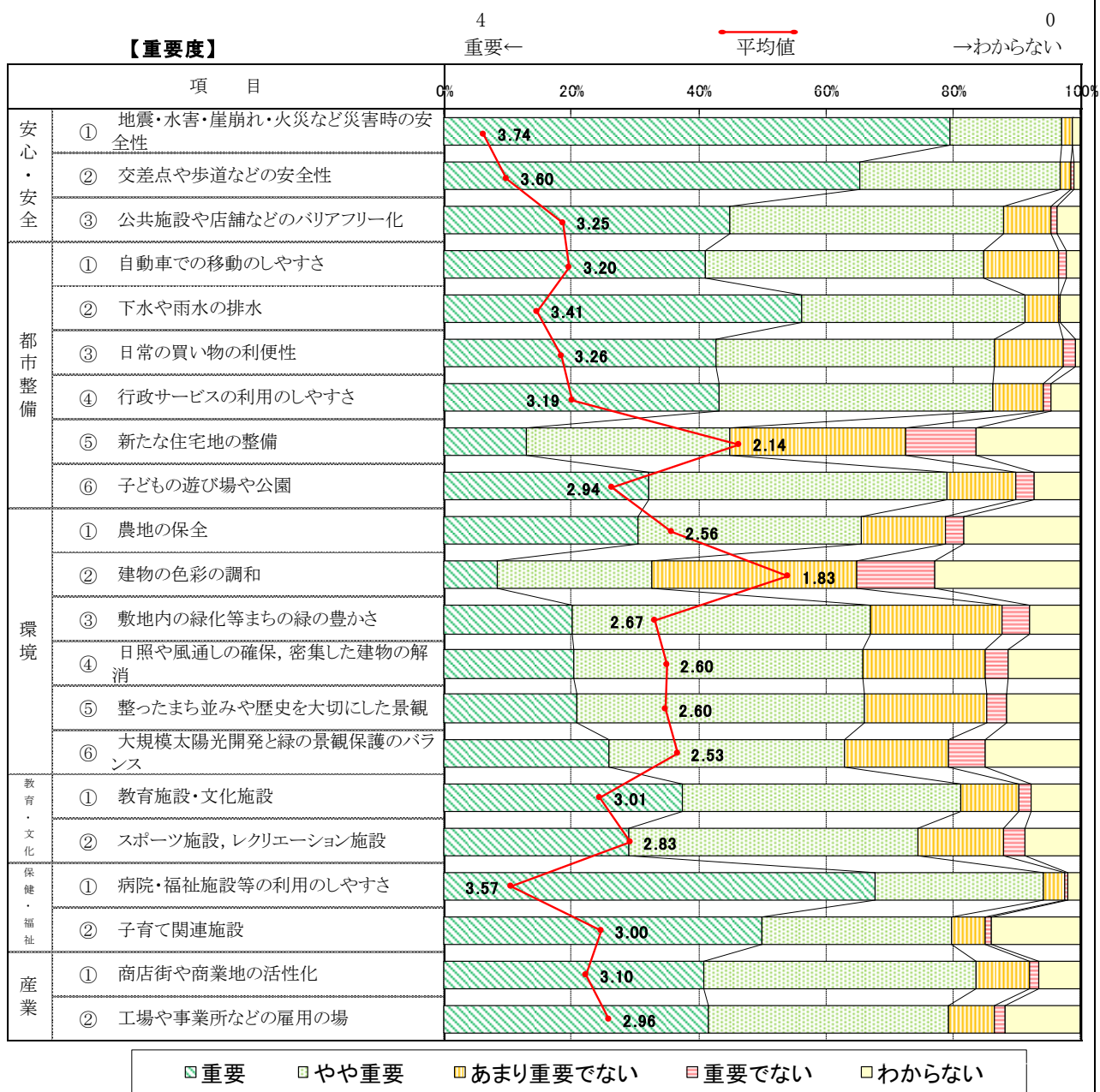


※平均値(満足・・4, やや満足・・3, やや不満・・2, 不満・・1, わからない・・0)無回答は除く。

※折れ線は平均値。

n=1,090 名

【今後の重要度＜問8＞】今後の重要度は、「地震・水害・崖崩れ・火災など災害時の安全性」、「交差点や歩道などの安全性」、「病院・福祉施設等の利用のしやすさ」が相対的に高くなっています。反対に、「建物の色彩の調和」、「新たな住宅地の整備」、「大規模太陽光開発と緑の景観保護のバランス」は相対的に低くなっています。



※平均値(重要・・・4, やや重要・・・3, あまり重要でない・・・2, 重要でない・・・1, わからない・・・0)無回答は除く

※折れ線は平均値。

n=1, 090 名

【重要度と満足度＜問8＞】現在の満足度が低く・今後の重要度が高い項目（aゾーン）は「子育て関連施設」、「商店街や商業地の活性化」、「交差点や歩道などの安全性」などとなっています。

満足度と重要度の分析

【偏差値】

満足度と重要度を点数化して偏差値を算定し、縦軸に重要度、横軸に満足度をとってグラフ化した。

aゾーン：満足度が低く、重要度が高い

cゾーン：満足度・重要度がともに低い

bゾーン：満足度・重要度がともに高い

dゾーン：満足度が高く、重要度が低い

▲ 安心・安全に関する項目

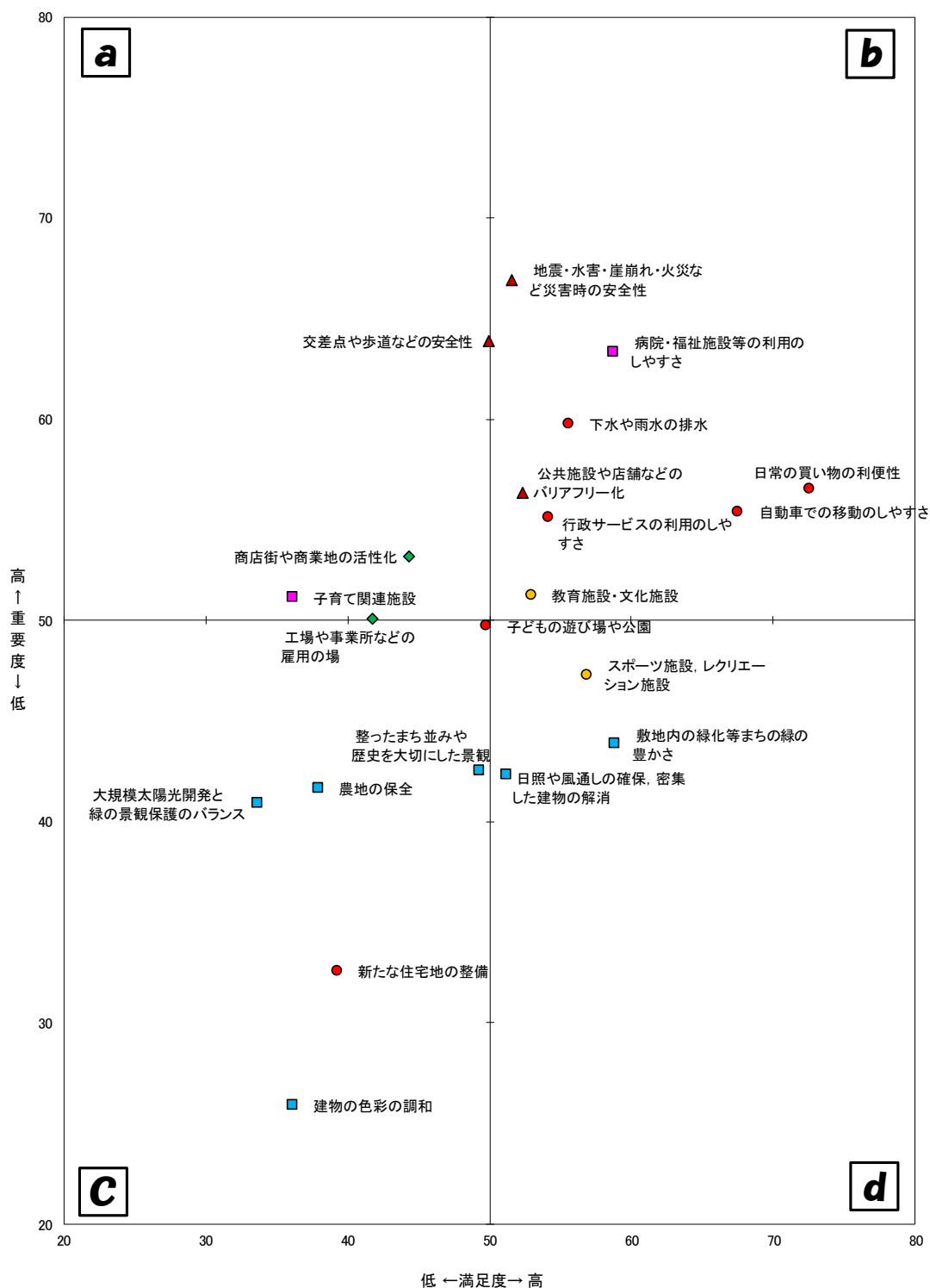
● 都市整備に関する項目

■ 環境に関する項目

● 教育・文化に関する項目

■ 保健・福祉に関する項目

◆ 産業に関する項目



n=1,090 名

【現在の満足度＜問 8＞】過年度と比較すると、「地震・水害・崖崩れ・火災など災害時の安全性」、「自動車での移動のしやすさ」、「子育て関連施設」、「工場や事業所などの雇用の場」は満足の割合が高くなっています。反対に、「敷地内の緑化等まちの緑の豊かさ」、「整ったまち並みや歴史を大切にした景観」、「スポーツ施設、レクリエーション施設」などは不満の割合が高くなっています。

現在の満足度		2022			前回		
		満足・やや満足	不満・やや不満	わからない	満足・やや満足	不満・やや不満	わからない
安心・安全	①地震・水害・崖崩れ・火災など災害時の安全性	40.1%	46.0%	13.9%	22.6%	61.9%	15.5%
	②交差点や歩道などの安全性	26.2%	70.2%	3.6%	29.7%	66.6%	3.6%
	③公共施設や店舗などのバリアフリー化	39.0%	46.6%	14.5%	40.2%	45.2%	14.6%
都市整備	①自動車での移動のしやすさ	57.7%	38.3%	3.9%	53.7%	38.3%	8.1%
	②下水や雨水の排水	17.2%	17.2%	8.6%	52.1%	33.8%	14.2%
	③日常の買い物の利便性	63.9%	34.6%	1.5%	68.8%	30.0%	1.2%
	④行政サービスの利用のしやすさ	13.4%	13.4%	6.7%	—	—	—
	⑤新たな住宅地の整備	12.4%	12.4%	6.2%	—	—	—
	⑥子どもの遊び場や公園	12.0%	12.0%	6.0%	29.1%	52.1%	18.9%
環境	①農地の保全	33.2%	32.4%	34.5%	43.6%	26.5%	29.9%
	②建物の色彩の調和	32.9%	28.5%	38.5%	—	—	—
	③敷地内の緑化等まちの緑の豊かさ	53.3%	32.0%	14.7%	75.7%	16.8%	7.5%
	④日照や風通しの確保、密集した建物の解消	45.2%	31.5%	23.3%	—	—	—
	⑤整ったまち並みや歴史を大切にした景観	40.3%	38.4%	21.3%	46.6%	32.2%	21.2%
	⑥大規模太陽光開発と緑の景観保護のバランス	21.1%	49.8%	29.1%	—	—	—
教育・文化	①教育施設・文化施設	39.7%	47.1%	13.2%	41.0%	42.0%	17.0%
	②スポーツ施設、レクリエーション施設	47.1%	39.6%	13.3%	50.7%	33.6%	15.7%
保健・福祉	①病院・福祉施設等の利用のしやすさ	44.6%	48.9%	6.4%	—	—	—
	②高齢者や障がい者などの福祉施設について	—	—	—	26.4%	46.2%	27.5%
	③子育て関連施設	27.7%	38.7%	33.7%	27.1%	40.2%	32.7%
産業	①商店街や商業地の活性化	25.0%	61.8%	13.2%	25.5%	56.6%	17.9%
	②工場や事業所などの雇用の場	34.0%	36.8%	29.1%	24.9%	47.8%	27.5%
鈴鹿市全体の総合的な評価		47.7%	46.7%	4.2%	47.9%	46.5%	5.6%

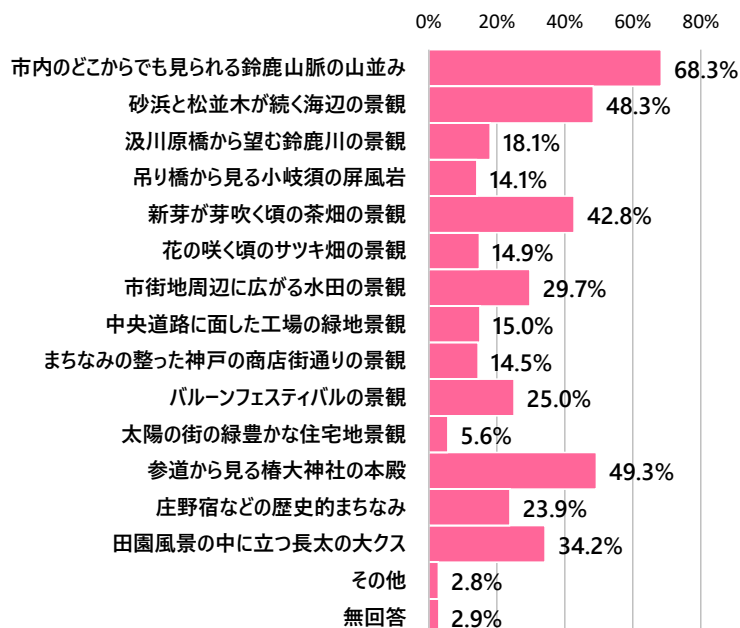
n=1,090 名(今回)、1,129 名(前回)

【今後の重要度＜問8＞】過年度と比較すると、安心・安全の3項目は大きく重要度の割合が高くなっています。その他に、「下水や雨水の配水」や「日常の買い物の利便性」、「自動車での移動のしやすさ」の項目も重要度の割合が高くなっています。

今後の重要度		2022			前回		
		重要・やや重要	重要でない・あまり重要ではない	わからない	重要・やや重要	重要でない・あまり重要ではない を占むものとする	わからない
安心・安全	①地震・水害・崖崩れ・火災など災害時の安全性	97.0%	1.8%	1.2%	58.8%	24.8%	16.3%
	②交差点や歩道などの安全性	96.8%	2.1%	1.1%	67.6%	22.6%	9.8%
	③公共施設や店舗などのバリアフリー化	88.0%	8.3%	3.7%	58.3%	18.9%	22.8%
都市整備	①自動車での移動のしやすさ	84.8%	12.9%	2.3%	80.1%	12.5%	7.4%
	②下水や雨水の排水	91.3%	5.6%	3.1%	80.2%	8.3%	11.4%
	③日常の買い物の利便性	86.5%	12.6%	0.9%	78.8%	17.5%	3.6%
	④行政サービスの利用のしやすさ	86.3%	9.1%	4.7%	—	—	—
	⑤新たな住宅地の整備	45.0%	38.7%	16.3%	—	—	—
	⑥子どもの遊び場や公園	79.1%	13.7%	7.2%	79.3%	7.9%	12.8%
環境	①農地の保全	65.7%	16.0%	18.4%	69.0%	10.4%	20.6%
	②建物の色彩の調和	32.7%	44.5%	22.8%	—	—	—
	③敷地内の緑化等まちの緑の豊かさ	66.9%	25.1%	8.0%	83.3%	10.3%	6.4%
	④日照や風通しの確保、密集した建物の解消	65.8%	22.8%	11.4%	—	—	—
	⑤整ったまち並みや歴史を大切にしたい景観	66.0%	22.5%	11.5%	72.5%	12.2%	15.3%
	⑥大規模太陽光開発と緑の景観保護のバランス	62.8%	22.1%	15.1%	—	—	—
教育・文化	①教育施設・文化施設	81.2%	11.1%	7.8%	81.5%	7.9%	10.6%
	②スポーツ施設、レクリエーション施設	74.4%	16.9%	8.7%	73.9%	14.7%	11.4%
保健・福祉	①病院・福祉施設等の利用のしやすさ	94.0%	3.9%	2.0%	—	—	—
	②高齢者や障がい者などの福祉施設について	—	—	—	88.9%	8.8%	0.0%
	③子育て関連施設	79.8%	6.2%	14.1%	82.8%	3.6%	13.5%
産業	①商店街や商業地の活性化	83.5%	9.9%	6.6%	81.3%	8.0%	10.8%
	②工場や事業所などの雇用の場	79.4%	8.9%	11.8%	83.4%	3.0%	13.6%

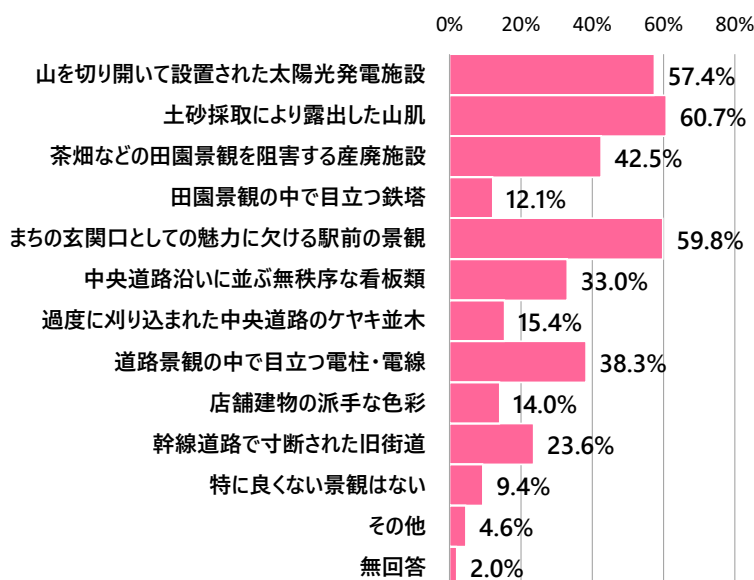
n=1,090名(今回)、1,129名(前回)

【後世に残したい景観＜問 9＞】「市内のどこからでも見られる鈴鹿山脈の山並み」が 68.3%で最も割合が高く、次いで「参道から見る椿大神社の本殿」が 49.3%、「砂浜と松並木が続く海辺の景観」が 48.3%となっています。



n=1,090 名

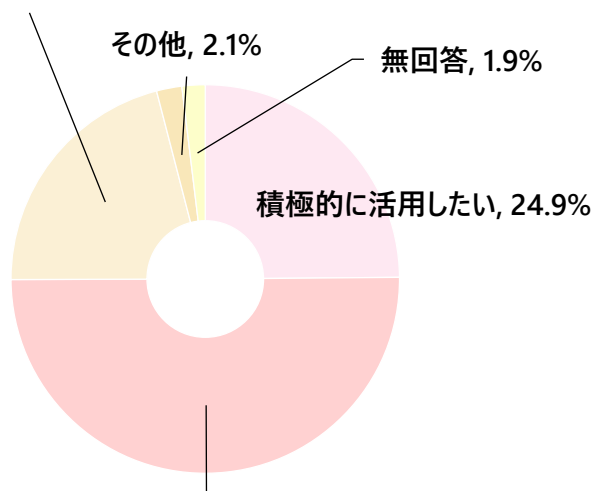
【良くない景観＜問 9＞】「土砂採取により露出した山肌」が 60.7%で最も割合が高く、次いで「まちなみの玄関口としての魅力に欠ける駅前」の景観」が 59.8%、「山を切り開いて設置された太陽光発電施設」が 57.4%となっています。



n=1,090 名

【デジタル技術の活用<問10>】約25%は「積極的に活用したい」、約50%は「少しずつ活用したい」となっており、全体の4分の3は、デジタル技術の活用に向向きの傾向がうかがえます。

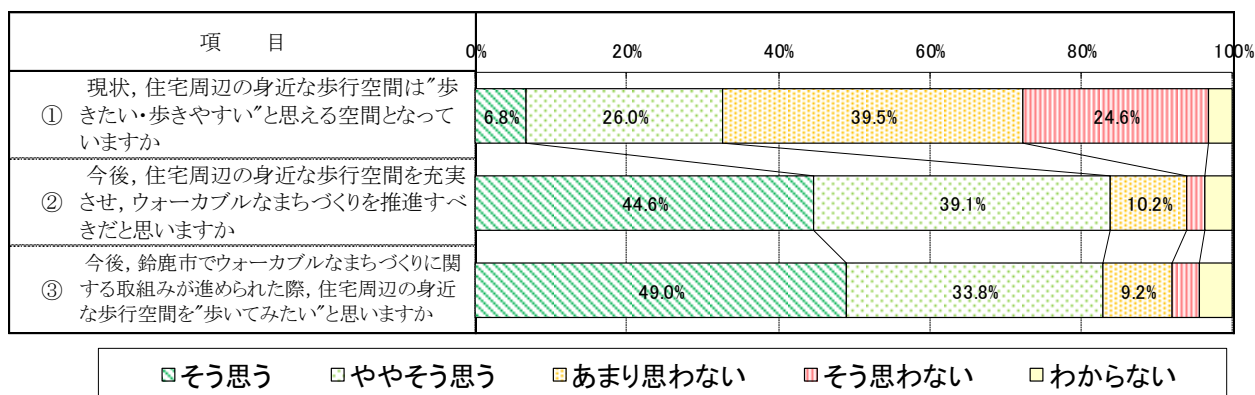
わからないことが多く不安であるため、活用したくない, 21.0%



わからないことが多く不安であるが、少しずつ活用したい, 50.1%

n=1,090 名

【ウォーカブルなまちづくり<問11>】現状“歩きたい・歩きやすい”空間となっていると感じているのは約35%となっており、今後ウォーカブルなまちづくりの推進の必要性や実際にそのような空間を歩いてみたいと感じているのは約8割となっています。

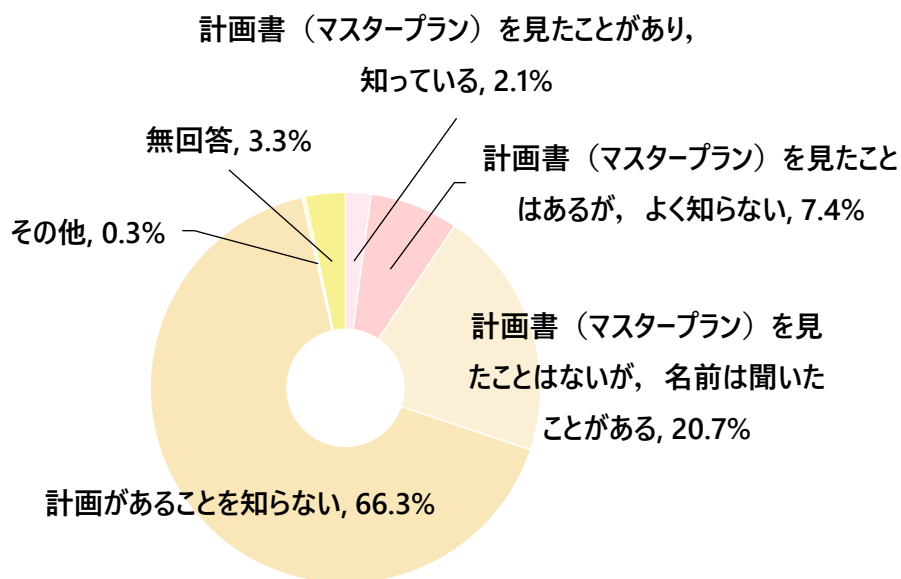


※無回答は除く。

※5%未満の比率は非表示とした。

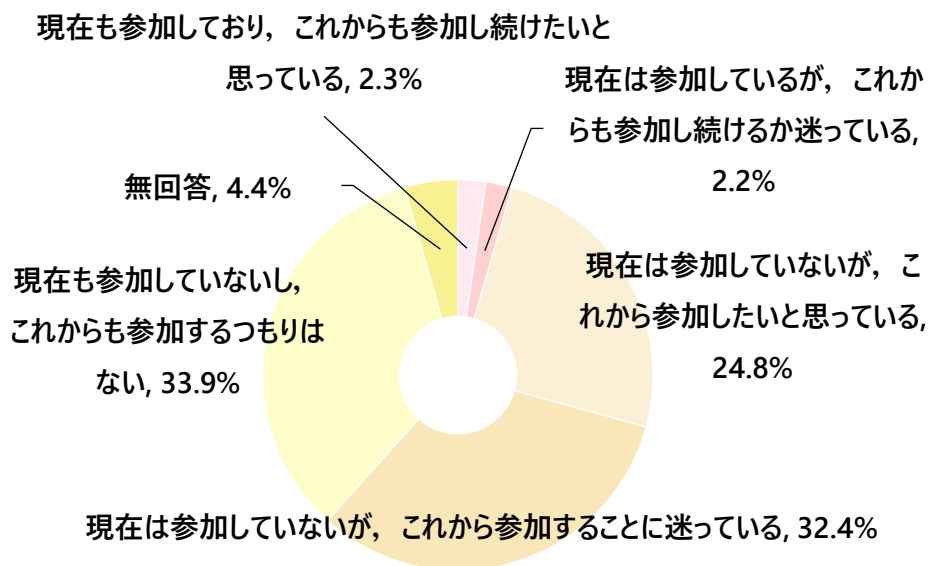
n=1,090 名

【都市マスタープランの認知度＜問 1 2＞】約 3 割は計画書（マスタープラン）を知っていますが、半数以上の市民が、都市マスタープランの計画があることを知らない状況です。



n=1,090 名

【まちづくりへの参加意向＜問 1 3＞】約 4%が現在まちづくりへ参加していると回答しており、約 25%はこれから参加したいと回答しています。約 30%は今後の参加に迷っていると回答しています。



n=1,090 名

建築士と考える

(表面)

あなたがプレーヤー 鈴鹿の“あつ森”



～あつまれどうぶつの森をプレーする感覚で気軽に
まちづくりワークショップに参加してみませんか?!～

日時

第1回 令和4年 12月18日(日)13:30～15:00

第2回 令和5年 1月22日(日)13:30～15:00

2日間にわたるワークショップです。両日参加をお願いします。

会場

鈴鹿市男女共同参画センター
ジェフリーすずか 3階研修室1
(鈴鹿市神戸二丁目 15 番 18 号)

参加費

無料

定員

20名

申込

インターネットフォームからお申込ください

申込アドレス: <https://forms.gle/WVuKpBTuJgsw2PqP6>

申込締切は令和4年11月30日です。

申込時にアンケートにご回答ください。



都市マスタープランを改定するにあたり、鈴鹿市のまちづくりについて
自由な雰囲気の中話し合うワークショップを開催します。

これからのまちづくりの中心的な担い手となる、高校生・大学生・社会人
(若い世代)の方からご意見を頂きたいので、ぜひご参加ください。



お問い合わせ

鈴鹿市 都市計画課 計画・景観グループ
〒513-8701 三重県鈴鹿市神戸一丁目 18 番 18 号
E-mail: toshikekaku@city.suzuka.lg.jp

TEL: 059-382-9063

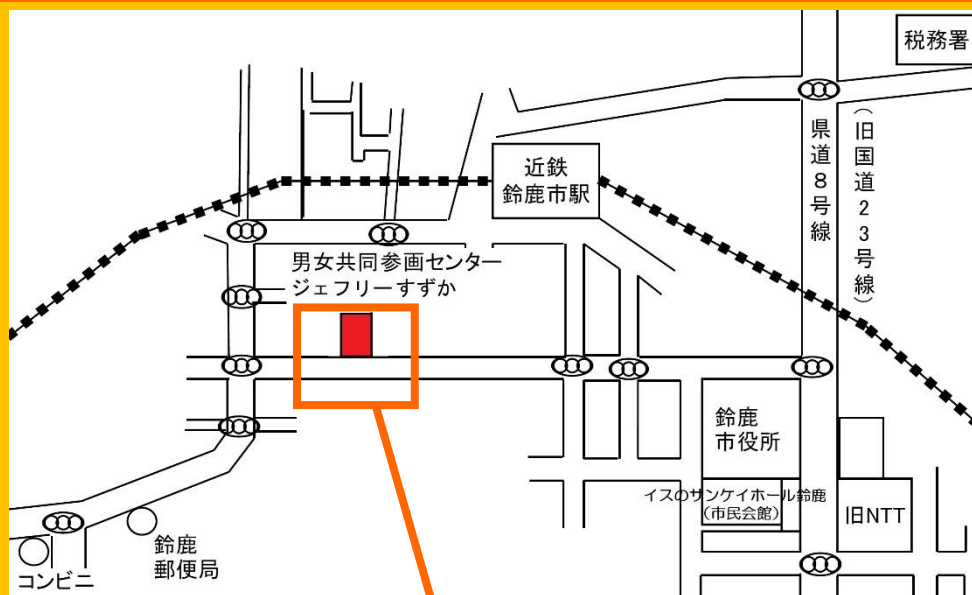
FAX: 059-384-3938

※ワークショップタイトルにある『あなたがプレーヤー鈴鹿のあつ森』は、鈴鹿市を舞台として人気ゲームあつまれどうぶつの森をプレーする感覚で気軽にワークショップに参加し、まちづくりについてたくさんの意見を出してもらえることを願ってつけました。

(裏面)

申込方法	新型コロナウイルス感染症に関するお願い
・インターネットフォームから市民ワークショップ参加希望票に必要事項を入力してお申込ください。参加希望票入力後アンケートにお答えください。応募者多数の場合抽選となりますのでご了承ください。	ワークショップにご参加いただく際には、以下のことにご協力ください。 ・館内では、マスクの着用をお願いします。 ・体調不良の方は入館をご遠慮願います。 ・入館の際、窓口で手指の消毒をお願いします。 ・館内では、他の人との間隔をできる限り2m程度空けてください。 ・館内での飲食はご遠慮願います（水分補給程度は可）。
対象者	
・高校生、大学生、社会人（若い世代49歳までの方）を対象としています。	
ワークショップ内容	
・当日は建築士の方にもご参加いただき専門家の意見を聞きながらまちづくりについて意見交換を行います。より活発なワークショップになることを期待し2日間にわたる開催としています。	※新型コロナウイルス感染症の影響により、ワークショップの開催を中止又は延期することがあります。中止又は延期する場合は、市ホームページでお知らせするほか、参加希望者にはお電話にてご連絡します。

会場案内



会場

鈴鹿市男女共同参画センター

ジェフリーすずか

三重県鈴鹿市神戸二丁目15番18号
近鉄鈴鹿市駅から徒歩約6分

